

2012年もあっという間に年末、新年を迎えようとしています。私たち遊林会の活動は、①里山保全活動、②子どもをはじめ多様な人々への環境学習の2本柱で動いています。本流とも言うべき①の里山保全活動は、年間40～50回、80人以上の人が参加して活発に活動しているものの、最近新たな参加者の姿を見る機会が減ってきていることも事実です。2013年は、これまでの仲間と共に楽しく活動していくことに加えて、新たな仲間をお誘いしていくことも考えていかねばなりません。



幹周り約2mの木を伐りました

②の環境学習は、2年目に入ったモリイコ！をはじめとして年間7,500人、約200回にも及ぶ活動を実施し、オープン10年を過ぎた今もますます充実してきています。これだけの活動を行うために、様々な補助金や受託事業を開拓して資金確保に努めていますが、決して安定したものではなく、好評で人気の高いモリイコ！でさえも、このままでは実施が危ぶまれる状況です。

改めまして遊林会に関わる皆様、2013年は、こうした問題にそれぞれの立場で、より一層お力添えをお願いいたします。

## ☆第2土曜日の作業

この日の作業は午前中のみ、午後は忘年会モード。作業前、焚火を囲んでの皆さんの話題は、当地のケーブルテレビで15分番組として放映された炭焼名人・城さん主演の『河辺いきものの森～里山にたなびく煙～』のことでした。この取材と収録は昨冬に行われ、炭焼きの様子を撮影するためにカメラマンは何回も森に訪れ、城さんを密着取材されたものです。

さて、森は紅葉・黄葉の真最中です。観察会はこの森の様子を楽しむことが中心ですが、まずは木道沿いで葉を落としたコバシの姿からです。明るくなった森で発芽して成長したコバシは花が咲き始めて今年で2年目、花の数はまだ少なく、来春の花の数が気になるところです。

「♪北国の春」の歌詞で余りにも有名なコバシは春を告げる花として様々に取り上げられていま

すが、当地では名前は知っていても実物を知らない場合が多く、かろうじて奥永源寺では「コバシの花が咲けばイワが釣れる時期」と言われているようです。観察会のメインはモジの林です。今年はこの時期でも黄色が混じり一面の赤とはならず、三平モ



竹の遊び場づくり

キがどうしてそれぞれの色が付くのかを実際に色の組み合わせ付きで解説しました。黄色は元々葉に含まれ落葉期になると緑がなくなり現れる色、赤は葉の糖分が変化して発色する色ですが、茶色になるのは研究する者が少なく不明…とのこと。散り敷かれた赤や黄色のモジの葉を踏みしめる音を感じての観察会は初冬の贅沢なひと時でした。何はこのモジ林の今があるのは木登り名人(2006年1月没)の吊るし切り(モジ以外の樹を伐倒した時にモジを傷めない方法)のお蔭であることを付け加えました。氏のことは河辺林通信2000年12月31号他に記載しています。

この日の作業は、①竹林の間伐、②草はら広場機械刈り、③葉っぱ集め、④落ち葉かき、⑤お餅つきをはじめとした食事づくりです。

①竹林の間伐は晩秋から冬まで継続する作業で、この日も竹を切って枝を落とす作業を丁寧に行いました。②機械刈りは草はらを維持するための12月の恒例作業で、ベテラン勢がこの1年で伸びたスギや杉、ヤマトなどを刈りました。③葉っぱ集めは、先月に引き続き東北の保育園に落ち葉を送るために集める作業で、この日は色づいたモジなどを中心に集め、きれいに押した状態で送ってあげようと準備をしました。④落ち葉かきはこの時期から本格的にスタート、交流広場に作った竹柵(通称カブトシのベッド)に落ち葉をかいて入れました。⑤昼食準備は、お昼に始まる餅つきに備え、早々に草刈り作業を済ませていただいた突撃隊長も駆り出されて石臼を洗い、臼をお湯で温めたりと準備が進んでいました。何は森守堂の囲炉裏に火をおこして二次会の場の設定に精を出しておりました。

正午より餅つきが威勢良く始まり、この1年の活動の無事に感謝する炭焼名人の乾杯の発声で忘年会モードのお昼となりました。もちろん二次会は森守堂の囲炉裏を囲んでありました。

1月の作業日は

**1月12日(第2土曜日)、23日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)**

遊林会の作業会議「森の居酒屋」は1月9日 午後7時頃～

**主 催 者 : 遊 林 会**

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: [ikimono@e-omi.ne.jp](mailto:ikimono@e-omi.ne.jp)

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

## ☆第4水曜日(→第3水曜に変更)の作業

本年最後の作業日となった19日は雪がちらつくとても寒い日となりましたが、空は青空、積もるほどの雪でもなく、作業するには良い天候でした。この日は竹の間伐作業が中心ですが、長さ3m 程度の竹をストックする従来の方法以外に、6m の長尺物の竹もストックできるように、まずは竹置き場の新設作業からスタートです。ベテラン揃いの水曜日、作業小屋裏のスペースに、立木と杭を組み合わせてあつという間に作り上げました。次いで、竹の間伐作業です。今回は長さ6m 程度に切るのですが、もちろんどんな竹を切っても良いわけではなく、材として不向きな今年生えた竹は切らず、少し年数のいった竹で周囲が混んでいる所から間伐するという方法です。休憩をはさんで、一時的に落ち葉かき作業も行いました。落ち葉かきといっても今回はクヌギなどの大量の落ち葉を集め、東北に送ってあげるための作業です。その様子を毎日新聞さんが取材に来られ、12/21の紙面で紹介されました。

お昼は年末作業日の名物？、市場直送のお刺身です。他にもカブのたいたん、豚汁、ふろふき大根、リンゴサラダ等々、一年の作業を無事に終えたことを、ごちそうとともに喜びました。

## ☆12月の木ままクラブ

12/13 14人 今年最後の木ままは、竹林内でう枯れにより枯れていたクヌギ大木(樹齢約 85年)を伐採しました。中日新聞さんが取材に来られ、1/7に紹介される予定です。  
1月は17日、31日が活動日です

## ☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

12月も前半で2012年の学校の来訪は終わりました。しかし、年末は27日、年始は5日からモリイコ！やイベントがあるため、なんだかんだでバタバタしています。年末大掃除とクリスマスコンサートに向けて、ネチャーセンターの窓ふきや床掃除もおわり、「なんだかスッキリするね～」と言っていたのですが、スタッフルームはというと…みんな各々の抱えている仕事の資料や物品で机の上はびっしり埋め尽くされています。毎年、年末年始だけ机がピカピカしているのですが、今年はピカピカまでできるでしょうか？(そのピカピカは年始3日間くらいで終わりますが…)

## ☆超人気！大阪の親子対象イベント

今年度は(財)大阪市環境事業協会さんとの本格的な連携活動を実施しています。大阪市内の親子を対象としてこの森で実施するイベントは非常に好評で、1月13日には今年度最終回となる5回目のイベント「冬の森たんけんときき火を楽しむ！」を実施します。大阪ではなかなか体験

できない「たき火」の活動は特に好評で、募集後すぐに定員12組(約48人)を超えてしまい、20組(約60人)に増やして実施することにしました。ところが、締め切りまでまだ数日を残した12/21時点で、応募者は何と68組214人まで膨らんだとのこと。抽選で20組を選ぶのですが、これではせっかく申し込んでもらっても大半の人が落選してしまいます。一人でも多くの親子に森の楽しさを味わってもらいたいと思い、落選者を対象に急遽3月にも同じ活動を実施することにしました。この森での活動は、県内の小学校等から高評価を頂いていますが、いよいよ県外での評判も高まってきたように思います。

## ☆モリイコ！の子どもたち

モリイコ！の活動も8回目となりました。モリイコ！Sでは、竹で遊び場を作りました。まず、子どもたちには生えている竹を自分たちで伐りだして、枝を払ってもらいました。その後どんな遊具を作るのかを決め、遊び場作りをスタート！竹を適当な長さにきり、ロープを結んできにくくりつけ、ブランコやターザンロープ、はしごなどを作ります。子どもには難しいかな、と思っていたロープワークも、ゆっくり手本を見せながら行うと見様見真似できちんと結ぶことができました。他にもシーソーや平均台、ボールング、木と木の間に竹をくくりつけ、竹の上を進んでいく消防士、竹の枝をたくさん集めてトンボリンを作りました。竹を伐るとき、遊具を作るときに協力していたのはもちろんのことですが、遊んでいるときにも子ども同士で、教え合い、ゆずり合い、助け合いができていたように思えます。

モリイコ！の活動も「協力」がテーマでした。まずは協力して、ファイヤークルに火をつけました。自分たちの背よりも高く燃え上がった火にビックリしていました。次に森の調査隊！で、森の中にある草や木の跡を探しにいきました。赤・黒・青・緑・茶色・白…いろいろな色・形の跡を全員で20種類以上見つけることができました。午後からは、最大のミッション、みんなで森にいったQです。森の中に隠れている問題をクリアしていくのですが、子どもたちだけで地図・無線を使って、森へ初めて行きました。地図が得意な子どもが先導して行く班や、途中で道がわからなくなった班があったり、でも迷ったり悩んだりすると、班で集まって話し合いをして子どもたちだけで考えて行動することができました。

## ☆1月の作業は…

竹の間伐、下刈りなど里山の作業は冬が本番！皆様のご参加をお待ちしています。

**容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！**